

「大切な存在」

竹田市立竹田中学校 2 年 酒見 華望

みなさんには「大切な人」がいますか？

あなたにとって「大切な人」とは、誰ですか？親、兄弟、友達、親友、恋人など人によって様々でしょう。

私は、「大切な人は？」と、問われたら『親』という、生きていくには欠かせない存在のことを、まず思い浮かべます。でも・・・私には、『親』がいません。

私は、幼い頃、自分を育てている目の前の2人が、父親、母親ではないことを、祖母の口から知りました。小学校入学前で幼な過ぎたため、その事実を知っても、大きな衝撃を受けることもなく、自分の生活に違和感を持たずに過ごしていました。なぜなら、私のそばには、いつも祖父母がいてくれたからです。

しかし、小学校に入学し、4、5年経った頃、私は、自分の家庭がみんなとは違うということに気づきました。例えば、授業参観の時のこと。周りのお母さんたちは若くて綺麗なのに、どうしてうちだけ、ばあちゃんなんだろう、来てもらってはいるけれど、なんだかそれも恥ずかしく思えてきました。また、遠足の日も、友達のお弁当はカラフルなのに、私のお弁当はいつも茶色のおかずばかり。せっかく作ってもらっているのに・・・と、頭ではわかってはいるものの、自分の心の中にもやもやとした気持ちが広がっていくのを止められませんでした。

小学校高学年になった私は、ついつい周りとの自分の家庭環境を比べてしまい、勝手にイライラし、学校から家に帰れば、毎日、祖父母に暴言を吐いて、きつく当たり散らすようになりました。話しかけられても「うるさい」の一言で済ませ、無視をするのも当たり前。「なんで私ばかり」と、いつもいつも不機嫌でした。

そんな生活を送っていた6年生の時のことです。あんなに元気だった祖父が、難病を患ったのです。ある日、祖母から祖父の様子が急激に悪くなっている、と伝えられました。以前はしっかりと自分で立てていたのに、咳をした後、急に倒れこんだり、食事をしているときによく喉にものを詰まらせたりするようになりました。私も何度かその状態を目にし、そこで初めて祖父のことを真剣に心配するようになりました。「じいちゃんが、死んだらどうしよう。」と、不安になっていました。よくよく考えてみると日々の生活に、祖父は欠かせない存在でした。もちろん祖母も同じです。毎日の学校への送り迎え、家事、生活に不可欠なお金。言い出したら止まらないと言ってもいいほどにたくさん世話になっていたことに、ようやく気がついたのです。このまま、今まで通りたくさんの暴言を吐いていてそのうち、その言葉が祖父との最後の会話になってしまったら・・・ふと、そんなことを思うようにもなりました。寂しさや後悔、何よりも今までの自分の行動に罪悪感

を感じていました。

「このままじゃいけない。」そう思いはしたものの、すぐに今までの行動を変えることは、私にはできませんでした。だから。日常での会話を少しでも増やそうと思い、極力、祖父の言葉に耳を傾け、苛立ちを示すようなことはしまいと努力しました。すると、今まで目を背けていたものが見え始めたのです。それは、祖父の優しさです。

竹田中学校に入学すると、吹奏楽部の練習の送迎や、勉強についていけるか心配してくれたり、これまで以上に祖父母は一生懸命に私を育ててくれています。ここ最近では、前のようにキツく当たることはなくなりました。そして、笑顔で過ごすことが多くなったと思います。祖父の病気がきっかけでしたが、実は、嬉しいこともあったからです。

今年の3月、竹田市の教育委員会がマスコットキャラクターの絵を募集しました。絵が大好きな私は、「かんぶう」というキャラクターを描きました。竹とカボスを融合し、頭の上に大好きな「竹楽」の灯りをデザインしたものです。5月、なんと私の「かんぶう」が、最優秀賞となり、竹田市教育委員会のキャラクターに決まったのです。びっくりしたと同時にとても嬉しくなりました。祖父母も、自分の事のように喜んでくれました。表彰していただいた時、教育長先生に「丸いシルエットがとてもいい。丸みは人気が出る条件の一つ。今後、もっといろんな表情のかんぶうを見たい。」とおっしゃっていただき、ますます嬉しくなりました。私は、楽しくなって、今も、思いを込めて「かんぶう」を描いています。そんな私をそばで見ている祖父母もとても嬉しそうです。「何かいいことがあったのかい？いつも笑顔だね。」と言ってくれました。その言葉も私をますます笑顔にしてくれます。祖父母とも、ずっと一緒に笑顔でいたい、ずっと元気でいてもらいたい、そう強く思うようになってきました。

今いる大切な人がずっとそばにいてくれるとは限らない。これは私が祖父の病という経験をもとに強く感じたことです。私の場合、祖父や祖母と共に過ごす時間はおそらく、皆さんがご両親と過ごす時間より短いことでしょう。だからこそ、少しだって無駄にしない。1日1日を大事にして、一緒にたくさん笑ってずっと元気に過ごすこと。これがこの先の私の目標です。

あなたにとって「大切な人」とは、誰ですか？私は、胸を張って言えます。

私にとっての大切な人とは、じいちゃんとかあちゃんです。

ずっと大切に、ずっと一緒に、3人で、笑顔で元気に過ごしていきます。